



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

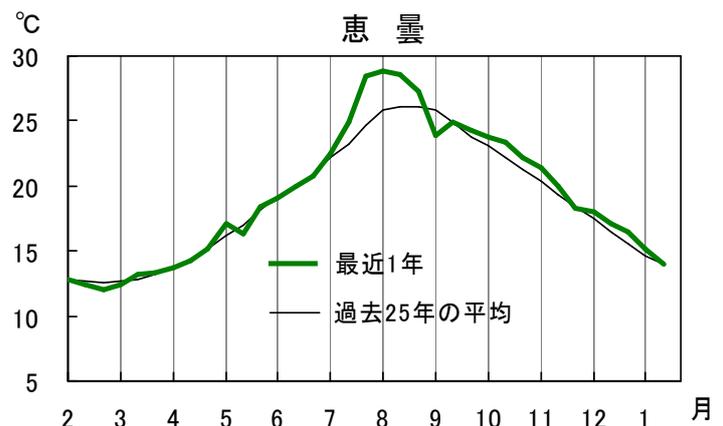
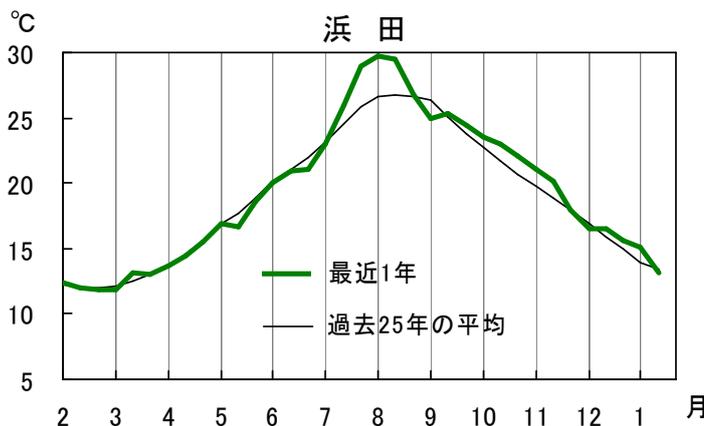
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《12-1月の海況》

| 12月 | 月平均 | 平年差 | 評価 |
|-----|-------|-------|------|
| 浜田 | 16.3℃ | +0.4℃ | 平年並み |
| 恵曇 | 17.2℃ | +0.7℃ | やや高め |

沿岸定地水温は、12月上旬は浜田では平年並み、恵曇では平年よりやや高めでした。12月中旬以降は浜田・恵曇とも平年よりやや高めで経過し、1月中旬現在では平年並みとなっています。


 《 12月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田地区、西郷地区及び浦郷地区ともにサバ類主体で、漁獲量は平年の2.4～4.6倍と好調でした。サバ類はマサバ当歳魚(2008年生まれ)を主体として10月以降好漁が続いています。一方、イワシ類は県東部(西郷及び浦郷地区)でウルメイワシの散発的な漁獲に留まりました(漁獲量:330トン)。また、各地区のマアジの漁獲量は平年の2～5割と低調でした。

【イカ釣漁業】

浜田港(属地5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁獲で、1隻1航海当たりの漁獲量は平年の5割と低調でした。また、同地区のスルメイカの漁獲量は平年の2%と極めて低調でした。西郷港(属人5トン以上)ではスルメイカ主体の漁獲で、1隻1航海当たりの漁獲量は平年の4割と低調でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではソウハチ、ムシガレイ主体の漁獲で、1統1航海当たり漁獲量は、前年を22%、平年(過去10年平均)を24%上回り、好調に推移しました。特にソウハチは平年の4倍、スルメイカ、マダイは平年の2倍の水揚げがありました。一方、ケンサキイカ、キダイは低調に推移し、平年の5～6割程度の漁獲に留まりました。また、マダラがまとまって漁獲され、30トンの漁獲がありました。

【小型底びき網漁業】

久手地区ではソウハチ、ニギス、和江地区ではソウハチ主体の漁獲でした。1隻1航海当たりの漁獲量は、両地区とも前年を20～30%下回りましたが、平年をやや下回る程度に留まっています。漁獲の主体であるソウハチですが、和江地区では前年を10%上回りましたが、久手地区では前年の55%の漁獲に留まり、対照的な水揚げ状況となりました。

【定置網漁業】

石見地区では主要漁獲物のマアジは平年並の漁獲でしたが、サバ類やマルアジが多く獲れたことで、全体では平年の2.3倍の漁獲量となりました。出雲地区では主要漁獲物のマアジが平年の2.7倍、ブリが平年の3.5倍、スズキが平年の4.5倍で、全体では平年の1.5倍の漁獲量となりました。隠岐地区ではスルメイカが漁獲物の90%を占め(平年の漁獲量の3倍)、全体の漁獲量は平年の2.2倍でした。

【釣・縄】

石見地区ではメダイ、クロマグロ、サワラ類などが漁獲され、漁獲量は平年の8割でした。出雲地区ではケンサキイカ、ブリ、サワラ類などが漁獲され、漁獲量は平年の8割でした。隠岐地区ではクロマグロ、メダイなどが漁獲され、漁獲量は平年の8割でした。

【平成 20 年 12 月の漁獲統計】

| 漁業種類 | 水揚港 | 主要魚種 | 総漁獲量 | | | CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量) | | | 漁模様 |
|---------------------|-----|-----------------------|---------|-------|-------|----------------------|-------|-------|-----|
| | | | 漁獲量 | 前年比 % | 平年比 % | 漁獲量 | 前年比 % | 平年比 % | |
| まき網 (中型・大 中型) | 浜田 | サバ類 | 471トン | 267% | 122% | 24.8トン | 295% | 120% | ○ |
| | 西郷 | サバ類 | 4,084トン | 99% | 114% | 71.6トン | 124% | 143% | ◎ |
| | 浦郷 | サバ類 | 3,832トン | 163% | 161% | 89.1トン | 224% | 184% | ◎ |
| イカ釣り (5トン以上) | 浜田 | ケンサキイカ | 6トン | 119% | 60% | 55 kg | 80% | 47% | ▲ |
| | 西郷 | スルメイカ | 5トン | 16% | 16% | 141 kg | 42% | 42% | ▲ |
| 沖合 底びき網 | 浜田 | ソウハチ、ムシガレイ | 375トン | 98% | 98% | 15トン | 122% | 124% | ○ |
| 小型 底びき網 | 久手 | ソウハチ、ニギス | 162トン | 73% | 106% | 590kg | 70% | 92% | ○ |
| | 和江 | ソウハチ | 269トン | 92% | 119% | 701kg | 79% | 96% | ○ |
| 定置網 (大型) | 浜田 | サバ類、マアジ | 11トン | 431% | 207% | 596kg | 454% | 214% | ◎ |
| | 美保関 | スズキ、マアジ、ソウダガツオ、ブリ、サワラ | 148トン | 138% | 178% | 1,478kg | 130% | 158% | ◎ |
| | 浦郷 | スルメイカ | 42トン | 116% | 249% | 1,515kg | 125% | 246% | ◎ |
| 釣り・縄 | 仁摩 | メダイ、クロマグロ、サワラ類 | 21トン | 49% | 98% | 37 kg | 56% | 83% | ○ |
| | 大社 | ブリ | 16トン | 49% | 71% | 27 kg | 42% | 59% | ▲ |
| | 西郷 | メダイ、クロマグロ、スルメイカ | 10トン | 73% | 61% | 37 kg | 80% | 70% | ▲ |

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下



大型クラゲ情報（平成 20 年の総括）

平成 20 年は、エチゼンクラゲは 12 月上旬に定置網に数個入網したのみで、結局ほとんど来遊が見られないまま終息しました。